

（様式2） 実行計画管理シート

事業名		176	地産地消推進事業		部・課	観光にぎわい部 農業振興課
総合計画との関係	基本目標等		地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち			
	施策目標等		22 農を守り、生かすまち			
	取り組みの方向		22-① より新鮮で安全な農産物を供給するため、地産地消の推進や環境にやさしい農産物の普及・拡大を図ります。			
	（関連施策目標等）					
	（関連施策目標等）					
	4つの重点的に進める施策との関係					
と総合戦略の関係	基本目標					
	施策目標					
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞			
	所信表明					
	2016(H28)年度市政運営方針					
	2017(H29)年度市政運営方針		○	農業後継者不足が深刻化する中、農業意欲の高揚を図り、本市農業が持続的に発展できるよう、地産地消の促進や農業の6次産業化など、販路の拡大に向けた検討を進める。		
	2018(H30)年度市政運営方針					

事業概要 （目的・内容等）		地産地消を促進し地域農業の振興を図るとともに、児童の食育教育を推進するため、学校給食にエコレンゲ米や野菜など地元農産物を供給する。また、農業者団体(市内直販団体)による自家生産の農産物を市民へ直接対面販売する「ふれあい朝市」の開催を支援する。			
------------------	--	---	--	--	--

取り組み状況

これまでの取り組み状況		市立小学校の学校給食では、昭和62年度の玉葱の供給からはじまり、平成7年5月に枚方市生鮮農産物供給組合(事務局:JA北河内)が組織され、供給可能な品目・量が拡大し、枚方産農産物を活用することで食育活動を推進している。 農業者団体が行う自家生産の農産物を市民へ直接対面販売(10箇所)する直販事業に助成している。			
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・学校給食に対し農薬・化学肥料の使用量を従来の5割以下で栽培した大阪エコ農産物の野菜や米等の地元農産物の供給。また米の供給については、環境にやさしいエコレンゲ米の活用促進 ・農業者団体(市内直販団体)による「ふれあい朝市」の開催の支援			
	実績(評価)	・学校給食に対し、米、えんどうまめ、たまねぎ、さつまいも、だいこん、キャベツ、はくさい、じゃがいも、ほうれん草、チンゲンサイ、青ねぎ、なす、小松菜、人参、冬瓜、黒米の16品目を供給し、地産地消を促進した。枚方産の食材を献立表に記載する等により、子どもたちの食への関心や知識を高めた。 ・学校給食へ環境にやさしいエコレンゲ米を2ヶ月分、42,016kg(玄米ベース)納入した。 ・農業者団体(市内直販団体)による「ふれあい朝市」(直接対面販売)の支援を実施した。			
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進			
	実績(評価)	・学校給食に対し、米、えんどうまめ、たまねぎ、さつまいも、だいこん、キャベツ、はくさい、じゃがいも、ほうれん草、チンゲンサイ、青ねぎ、なす、小松菜、人参、冬瓜、黒米、白ねぎ、れんこんの18品目を供給し、地産地消を促進した。枚方産の食材を献立表に記載する等により、子どもたちの食への関心や知識を高めた。 ・学校給食へ環境にやさしいエコレンゲ米を2ヶ月分、41,029kg(玄米ベース)納入した。 ・農業者団体(市内直販団体)による「ふれあい朝市」(直接対面販売)の支援を実施した。			
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進			
	実績(評価)	*・学校給食に対し、米、えんどう豆、玉葱、さつまいも、大根、キャベツ、白菜、じゃがいも、ほうれん草、チンゲンサイ、九条ねぎ、なす、小松菜、冬瓜、人参、金時人参、れんこん、かぼちゃ、里芋、黒米の20品目を供給し、地産地消を促進した。枚方産の食材を献立表に記載する等により、子どもたちの食への関心や知識を高めた。 ・学校給食へ環境にやさしいエコレンゲ米を2ヶ月分、42,863kg(玄米ベース)納入した。 ・農業者団体(市内直販団体)による「ふれあい朝市」(直接対面販売)の支援を実施した。 ・パイロット事業として「フレッシュ野菜プチマルシェ」を生涯学習センター2館(楠葉・牧野)で実施した。			

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	・学校給食に対し、新たに青葱を加えた21品目を供給し、地産地消を促進した。また、枚方産の食材を献立表に記載する等により、子どもたちの食への関心や知識を高めた。 ・学校給食へ環境にやさしいエコレンゲ米を2ヶ月分、40,843kg（玄米ベース）納入した。 ・農業者団体（市内直販団体）による「ふれあい朝市」（直接対面販売）の支援を実施した。 ・近くに在住する農業者が野菜販売を行う「フレッシュ野菜プチマルシェ」を、楠葉生涯学習市民センターで朝市3回、牧野生涯学習市民センターで夕市を5回行った。また、津田生涯学習市民センターでは、料理教室の食材提供を2回行った。
備考		

課題・今後の対応	学校給食に対する枚方産農作物の供給は年々増加しており、今後も引き続き推進する。 また、ふれあい朝市の開催については、概ね目標を達成しているが、より効率的な支援方法を検討する。		
達成状況（実行計画）	○：達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○：達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
市内各所での「ふれあい朝市」の開催回数		○		735	743	849	864	741	738	740	回	
指標の説明				令和元年度は、市内各所722回、市駅周辺8回、プチマルシェ8回 合計738回実施した。増減はあるものの概ね目標値を達成している。							当初目標値	達成年度
枚方市駅周辺をはじめとした市内各所での「ふれあい朝市」の開催回数												
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度
指標名		施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明											当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	3,917	0	0	0	0	0	3,917
2017(H29)年度	4,081	0	0	0	0	0	4,081
2018(H30)年度	4,959						4,959
2019(R1)年度	5,075						5,075

整備事業の場合の総事業費	0 千円	(建設経費	0 千円	，用地費	0 千円)
--------------	------	-------	------	------	--------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		177	エコ農産物普及促進事業		部・課	観光にぎわい部 農業振興課
総合計画との関係	基本目標等		地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち			
	施策目標等		22 農を守り、生かすまち			
	取り組みの方向		22-① より新鮮で安全な農産物を供給するため、地産地消の推進や環境にやさしい農産物の普及・拡大を図ります。			
	(関連施策目標等)					
	(関連施策目標等)					
	4つの重点的に進める施策との関係					
と総合戦略の関係	基本目標					
	施策目標					
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞			
	所信表明					
	2016(H28)年度市政運営方針					
	2017(H29)年度市政運営方針					
	2018(H30)年度市政運営方針					

事業概要 (目的・内容等)	環境にやさしい農産物の普及拡大を図れるよう、レンゲを有機肥料として活用することで化学肥料を抑える「レンゲ米」の栽培のために生産者が購入するレンゲ種子費用に対する補助を行う。また、農薬や化学肥料を通常の量の半分以下、または全く使わず栽培された農産物を大阪府が認証する「大阪エコ農産物認証制度」の普及拡大を図る。
------------------	--

取り組み状況

これまでの取り組み状況		平成16年度に「枚方市エコ農産物推進協議会」を設立し、枚方市でも取り組みを始めた。平成17年度より事業拡大・充実に向け必要な経費を負担金として支出している。	
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・「レンゲ米」の普及に向けたレンゲ種子の購入費用の補助 ・「大阪エコ農産物認証制度」の普及拡大 ・大阪エコ農産物の市民へのPR	
	実績（評価）	・レンゲの種子購入者に対し、購入費用の補助を行った。 ・大阪エコ農産物の概要及び申請会の開催について農業研究会会員に周知し、普及拡大を進めた。 ・農家が栽培した新鮮な農産物を直接市民が収穫するイベント「ふれあいツアー」において、収穫物が「エコ農産物」である際にその説明PRを行った。 ・「枚方産大阪エコ農産物」の販売会を年2回開催した。	
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進	
	実績（評価）	・レンゲの種子購入者に対し、購入費用の補助を行った。 ・大阪エコ農産物の概要及び申請会の開催について農業研究会会員に周知し、普及拡大を進めた。 ・農家が栽培した新鮮な農産物を直接市民が収穫するイベント「ふれあいツアー」において、収穫物が「エコ農産物」である際にその説明PRを行った。 ・「枚方産大阪エコ農産物」の販売会を年2回開催した。	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進	
	実績（評価）	・レンゲの種子購入者に対し、購入費用の補助を行った。 ・大阪エコ農産物の概要及び申請会の開催について農業研究会会員に周知し、普及拡大を進めた。 ・農家が栽培した新鮮な農産物を直接市民が収穫するイベント「ふれあいツアー」において、収穫物が「エコ農産物」である際にその説明PRを行った。 ・「枚方産大阪エコ農産物」の販売会を年2回開催した。	

2019(R1)年度 の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	・レンゲの種子購入者に対し、購入費用の補助を行った。 ・大阪エコ農産物の概要及び申請会の開催について農業研究会会員に周知し、普及拡大を進めた。 ・農家が栽培した新鮮な農産物を直接市民が収穫するイベント「ふれあいツアー」において、収穫物が「エコ農産物」である際にその説明PRを行った。（対象となる「ふれあいツアー」7回 参加人数537人） ・「枚方産大阪エコ農産物」の販売会を年3回開催した。（延べ16農家）
備考		

課題・今後の対応	認証申請栽培面積が年々減少していることから、生産者の栽培意欲を高める必要がある。 生産者に栽培指導に関する講習会を引き続き実施するとともに、消費者に普及啓発することでエコ農産物の認知度を高め、適正な販売価格設定につなげること等により、生産者の栽培意欲を高める。		
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
エコ農産物認証申請栽培面積	○		5,908.2	5,596.9	5,777.8	5,821.8	5,673.05	5,625.39	6,900	アール
指標の説明			年度により若干の増減が見られるが、目標値に満たないため、エコ農産物について、生産者だけでなく消費者に対しても普及啓発により理解を深め、栽培を推進する。						当初目標値	達成年度
農薬の使用回数や化学肥料の使用量など一定基準を満たすエコ農産物認証を申請して、認証された面積										
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
アンケート調査による「大阪エコ農産物」の認知度			-	-	-	-	(18.8)	(14.4)	20	%
指標の説明			令和1年度 ひらかたまつりの来場者を対象にアンケートを実施した。 回答:582人						当初目標値	達成年度
適時、市民アンケートにより、「大阪エコ農産物」の認知度を調査し「知っている」と答えた人の割合										
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明									当初目標値	達成年度
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明									当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	899	0	0	0	0	0	899
2017(H29)年度	930	0	0	0	0	0	930
2018(H30)年度	901	0	0	0	0	0	901
2019(R1)年度	822						822

整備事業の場合の総事業費	0 千円	(建設経費	0 千円	, 用地費	0 千円)
--------------	------	-------	------	-------	--------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		178	農業被害対策事業	部・課	観光にぎわい部 農業振興課
総合計画との関係	基本目標等		自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち		
	施策目標等		22 農を守り、生かすまち		
	取り組みの方向		22-① より新鮮で安全な農産物を供給するため、地産地消の推進や環境にやさしい農産物の普及・拡大を図ります。		
	(関連施策目標等)				
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係				
と総合戦略の関係	基本目標				
	施策目標				
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明				
	2016(H28)年度市政運営方針				
	2017(H29)年度市政運営方針	○	近年増加している有害鳥獣による農作物被害などの防止に取り組む。		
	2018(H30)年度市政運営方針				

事業概要 (目的・内容等)	近年の急激な都市化や生活様式の変化により、自然環境に大きな影響を与え、野生鳥獣の生息数、生息域が拡大した。本市においても野生鳥獣による農地や農作物への被害が生じている。貴重な農地を保全するため、有害鳥獣の捕獲を行う。
------------------	--

取り組み状況

これまでの取り組み状況		平成29年度当初新規事業	
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標		
	実績（評価）		
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	・大阪府猟友会との業務委託契約により有害鳥獣の捕獲の実施	
	実績（評価）	イノシシ19頭(435kg)を捕獲し、農業被害を減少させた。	
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進	
	実績（評価）	イノシシ17頭(385kg)を捕獲し、農業被害を減少させた。	

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	イノシシ39頭(749kg)を捕獲し、農業被害を減少させた。
備考		

課題・今後の対応	猟友会による捕獲に加え、地元農業者においても狩猟免許(わな猟免許)を取得してもらい有害鳥獣の捕獲に努めている。今後も猟友会と協力体制をとるとともに、地元農業者の狩猟免許の取得を促進し、捕獲数の増加と農作物等の被害減少に努める。		
達成状況（実行計画）	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況（市長公約）	○:達成に向けて進行・継続中

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
有害鳥獣捕獲頭数			-	-	6	19	17	39	30	頭	
指標の説明			猟友会による捕獲に加え、地元農業者においても狩猟免許(わな猟免許)を取得してもらい有害鳥獣の捕獲に努めてもらうなど連携を図ることで目標を達成した。							当初目標値	達成年度
有害鳥獣捕獲頭数											

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0	0	0	0	0	0	0
2017(H29)年度	350	0	0	0	0	0	350
2018(H30)年度	350	0	0	0	0	0	350
2019(R1)年度	350						350

整備事業の場合の総事業費 0 千円 （建設経費 0 千円 ， 用地費 0 千円 ）

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		179	老朽ため池改修事業	部・課	観光にぎわい部 農業振興課
総合計画との関係	基本目標等		安全で、利便性の高いまち		
	施策目標等		22 農を守り、生かすまち		
	取り組みの方向		22-① より新鮮で安全な農産物を供給するため、地産地消の推進や環境にやさしい農産物の普及・拡大を図ります。		
	(関連施策目標等)				
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係				
総合戦略との関係	基本目標				
	施策目標				
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明				
	2016(H28)年度市政運営方針				
	2017(H29)年度市政運営方針				
	2018(H30)年度市政運営方針				

事業概要 (目的・内容等)	本ため池(武生田池)は、尊延寺地区の重要な水源施設であり、築堤以来当該地区の生活基盤をなす農業経営上、欠くことの出来ない存在である。当ため池は、経年変化により堤体が侵食され断面や余裕高が不足し、又排水や取水施設も老朽化が進み、用水管理に支障をきたしている。当ため池の直下には、住宅が密集しており、決壊した場合、住民の安全が確保できない状況であり、当ため池は大阪府の事業採択要件に該当することから、府事業により設計・施工を実施するものである。
------------------	--

取り組み状況

これまでの取り組み状況		当ため池の一部崩落が平成27年度に発見され、大阪府・地元と協議を重ねた結果、改修に関し大阪府事業採択基準を満たすことから、平成29年度に大阪府が基本設計を行った。平成30年度は、法手続きを進め、平成31年度に実施設計を行った。	
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標		
	実績(評価)		
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標		
	実績(評価)		
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標		
	実績(評価)		

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	老朽ため池改修事業(実施設計費)
	実績(評価)	【事業費】11,917,400円 【負担割合】 市:2,233.5千円(18.75%)、地元負担:744.5千円(6.25%)、国:5,958千円(50%)府:2,982千円(25%) ※ 市は、市負担分と地元負担分を一括で府に支払い(歳出)、後から地元から地元負担分を徴収(歳入)した。
備考		

課題・今後の対応	設計・施工については、全て大阪府で担っており、実施設計をふまえ、令和2年度より施工を行うが、地元調整を市が担うことで円滑な事業の推進を図る。		
達成状況(実行計画)	○:達成に向けて進行・継続中	達成状況(市長公約)	

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26		H27		H28		H29		H30		R1		目標値(R1)		単位	
武生田池整備															実施設計	実施設計	—	
指標の説明			令和元年度に実施設計を行った。												当初目標値		達成年度	
実施設計（基本設計H29完了）																		

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26		H27		H28		H29		H30		R1		目標値(R1)		単位	
指標の説明															当初目標値		達成年度	

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26		H27		H28		H29		H30		R1		目標値(R1)		単位	
指標の説明															当初目標値		達成年度	

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26		H27		H28		H29		H30		R1		目標値(R1)		単位	
指標の説明															当初目標値		達成年度	

事業費(決算ベース)

							単位:千円
年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	0						
2017(H29)年度	0						
2018(H30)年度	0						
2019(R1)年度	2,978					744	2,234

整備事業の場合の総事業費	0 千円	(建設経費		千円	，用地費		千円)
--------------	------	-------	--	----	------	--	-----

（様式2） 実行計画管理シート

事業名		180	新規就農者育成事業		部・課	観光にぎわい部 農業振興課
総合計画との関係	基本目標等		地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち			
	施策目標等		22 農を守り、生かすまち			
	取り組みの方向		22-② 「農」を守るため、農業の担い手を育成し、本市での就農を促進するとともに、幅広い世代で「農」とふれあう機会の充実を図ります。			
	（関連施策目標等）		22 農を守り、生かすまち			
	（関連施策目標等）					
	4つの重点的に進める施策との関係					
と総合戦略の関係	基本目標					
	施策目標					
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞			
	所信表明					
	2016(H28)年度市政運営方針	○	農業後継者の不足が深刻化する中で、若い世代による就農者を育成するために開設した都市農業ひらかた道場の研修生などが就農者として安定経営できるよう、関係機関などと連携しながら、サポートできる仕組みを構築する。			
	2017(H29)年度市政運営方針	○	農業後継者不足が深刻化する中、農業意欲の高揚を図り、本市農業が持続的に発展できるよう、地産地消の促進や農業の6次産業化など、販路の拡大に向けた検討を進める。			
	2018(H30)年度市政運営方針					
事業概要 （目的・内容等）			次代の農業リーダーとなる若い世代を育成するため、H26年度から「都市農業ひらかた道場」を開設している。 【拡充(平成28年度当初)】 就農初期における農業経営安定化支援、就農後のサポート支援、農地確保・集積支援を実施する。			

取り組み状況

これまでの取り組み状況		農林水産省の新規就農・経営継承総合支援事業「技術習得支援事業」を活用してスタート。平成24年度は教育計画策定、平成25年度は教育カリキュラム策定、その上で平成26年4月に都市農業ひらかた道場を開設、枚方市域を中心に、主に高等学校以上の教育課程を修了した就農希望者や他産業からの就農希望者及び農業者等を対象として広く農業研修を行う。この2年間で5名の研修を実施。				
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・「都市農業ひらかた道場」の実施 【拡充(平成28年度当初)】 ・認定新規就農者が行う設備投資等に対し補助金を交付する「新規就農者経営安定化支援事業」の実施 ・サポート協議会の設置、専門知識・技能を有するサポーターの派遣、担い手農業者組織の設立支援など「就農後サポート支援」の実施 ・認定新規就農者への農地貸借に対し地主に奨励金を交付する「新規就農者農地集積支援事業」の実施				
	実績（評価）	・「都市農業ひらかた道場」の実施 【拡充(平成28年度当初)】 ・認定新規就農者が行う設備投資等に対し補助金を交付する「新規就農者経営安定化支援事業」の実施 ・サポート協議会の設置、専門知識・技能を有するサポーターの派遣、担い手農業者組織の設立支援など「就農後サポート支援」の実施 ・認定新規就農者への農地貸借に対し地主に奨励金を交付する「新規就農者農地集積支援事業」の実施				
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進				
	実績（評価）	・認定新規就農者が行う設備投資等に対し補助金を交付する「新規就農者経営安定化支援事業」の実施 ・サポート協議会の設置、専門知識・技能を有するサポーターの派遣、担い手農業者組織の設立支援など「就農後サポート支援」の実施 ・認定新規就農者への農地貸借に対し地主に奨励金を交付する「新規就農者農地集積支援事業」の実施				
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進				
	実績（評価）	・認定新規就農者が行う設備投資等に対し補助金を交付する「新規就農者経営安定化支援事業」の実施 ・サポート協議会の設置、専門知識・技能を有するサポーターの派遣など「就農後サポート支援」の実施 ・認定新規就農者への農地貸借に対し地主に奨励金を交付する「新規就農者農地集積支援事業」の実施 ・農業に関心のある市民の方に体験型農園での野菜作りに親しんでもらい、新たな担い手の育成につなげる「ちよつと本気の野菜作り講座」の実施。				

2019(R1)年度 の取り組み	予 定 ・ 目 標	→推進
	実 績 （ 評 価 ）	・認定新規就農者が行う設備投資等に対し補助金を交付する「新規就農者経営安定化支援事業」の実施 ・サポート協議会の設置、専門知識・技能を有するサポーターの派遣など「就農後サポート支援」の実施 ・認定新規就農者への農地貸借に対し地主に奨励金を交付する「新規就農者農地集積支援事業」の実施 ・農業に関心のある市民の方に体験型農園での野菜作りに親しんでもらい、新たな担い手の育成につなげる「ちょっと本気の野菜作り講座」の試行実施。
備考		

課題・今後の対応	平成26年度に、農業の担い手不足や農地の保全等の課題解決のため「都市農業ひらかた道場」を開設し、第一期生は3名修了し、枚方市内で2名が新規就農したが、平成28年度以降は、研修辞退・入講辞退等で道場生がいない状態が続いたため事業の見直しを行い、平成30年度に終了した。 平成30年度より道場に代わる事業として、農業に関心のある市民に体験型市民農園での野菜づくりに親しんでもらうパイロット事業(ちょっと本気の野菜づくり講座)を実施しており、より効果的な事業実施に向けて見直しを行うとともに、グループ営農の仕組みについても検討を行う。		
達成状況（実行計画）	△:課題が多く、遅れあり	達成状況（市長公約）	△:課題が多く、遅れあり

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
「都市農業ひらかた道場」研修終了生のうち就農につながった人数	○		0	2	0	0	0	0	15	人	
指標の説明			「都市農業ひらかた道場」は、平成28年度以降、受講生がいない状態が続いたため、事業の見直しを行った。平成30年度からは体験型農園での野菜作りに親しんでもらい、新たな担い手の育成につなげる「ちょっと本気の野菜作り講座」を試行的に実施し、令和元年度は11名が受講した。							当初目標値	達成年度
都市農業ひらかた道場研修生のうち就農につながった人数(市外就農者・雇用就農者含む)											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
新規就農者経営安定化支援事業により補助した人数			-	-	5	4	4	5	25	人	
指標の説明			微増しているものの、「都市農業ひらかた道場」が終了したことなどから目標達成に至っていない。							当初目標値	達成年度
新規就農者経営安定化支援事業により補助した人数											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
新規就農者経営安定化支援事業補助対象者で認定農業者に認定された人数(累計)			0	0	0	0	0	0	7	人	
指標の説明			新規就農者経営安定化支援事業の補助を受けた人が、認定農業者の認定を受けるまでに至っていない。							当初目標値	達成年度
新規就農者経営安定化支援事業の補助を受けた人が最終的に認定農業者に認定された人数(累計)											
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位	
指標の説明										当初目標値	達成年度

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	7,878	0	0	0	0	0	7,878
2017(H29)年度	3,416	0	0	0	0	0	3,416
2018(H30)年度	4,280	0	0	0	0	0	4,280
2019(R1)年度	6,574						6,574

整備事業の場合の総事業費	0千円	(建設経費	0千円	，用地費	0千円)
--------------	-----	-------	-----	------	------

(様式2) 実行計画管理シート

事業名		181	農業体験拡充事業	部・課	観光にぎわい部 農業振興課
総合計画との関係	基本目標等		地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち		
	施策目標等		22 農を守り、生かすまち		
	取り組みの方向		22-② 「農」を守るため、農業の担い手を育成し、本市での就農を促進するとともに、幅広い世代で「農」とふれあう機会の充実を図ります。		
	(関連施策目標等)				
	(関連施策目標等)				
	4つの重点的に進める施策との関係				
と総合戦略の関係	基本目標				
	施策目標				
市長公約との関係			＜所信表明・市政運営方針での表現＞		
	所信表明				
	2016(H28)年度市政運営方針				
	2017(H29)年度市政運営方針				
	2018(H30)年度市政運営方針				

事業概要 (目的・内容等)	「農」とふれあい、農業への理解を促進するため、小学生が植え付けから収穫、農産物の調理・加工、試食までを体験する食農体験学習の支援を行う。また、農家が栽培した新鮮な農産物を直接市民が収穫するなどの体験ができる「ふれあいツアー」を開催する。
------------------	--

取り組み状況

これまでの取り組み状況		農業委員会の事業であった「市民・消費者と農業のふれあいツアー」を市に移管し、農家が栽培した新鮮な農作物を直接市民が収穫する等の体験を通じ、農業への理解を深めてもらう事業として「ふれあいツアー」を開催している。取り扱う作物の一部を大阪エコ農産物とするなど内容の充実を図っている。 小学生食農体験学習は、農業が有する教育力を児童の健全育成に生かすことを目的に、平成20年度より試行実施し平成22年度より実施要綱及び実施要領を制定し、実施している。
2016(H28)年度の取り組み	予定・目標	・小学生食農体験学習の実施 ・「ふれあいツアー」の開催
	実績（評価）	・小学生食農体験学習については17校実施した。 ・「ふれあいツアー」については4,814人の参加があった。
2017(H29)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	・小学生食農体験学習については14校実施した。 ・「ふれあいツアー」については3,616人の参加があった。
2018(H30)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	・小学生食農体験学習については14校実施した。 ・「ふれあいツアー」については2,125人の参加があった。

2019(R1)年度の取り組み	予定・目標	→推進
	実績（評価）	・小学生食農体験学習については13校実施した。 ・「ふれあいツアー」については2,655人の参加があった。
備考		

課題・今後の対応	「ふれあいツアー」「食農体験学習」ともに、農家の高齢化等による、受け入れ農家の減少などで年々減少傾向にあり、実施方法などの見直しを検討する。		
達成状況（実行計画）	△:課題が多く、遅れあり	達成状況（市長公約）	

関連指標

指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
農業ふれあい体験者数	○		5,217	5,315	4,814	3,616	2,125	2,655	5,500	人
指標の説明								当初目標値	達成年度	
地元農家が育てた野菜などを収穫する農業ふれあいツアーの体験者数										
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
食農体験学習実施校数	○		18	20	17	14	14	13	21	校
指標の説明								当初目標値	達成年度	
地元農家の指導により植付から収穫までを連続的に体験する食農体験学習を実施した小学校数										
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明								当初目標値	達成年度	
指標名	施策指標	指標の実績（評価）	H26	H27	H28	H29	H30	R1	目標値(R1)	単位
指標の説明								当初目標値	達成年度	

事業費(決算ベース)

単位:千円

年度	事業費総額	国庫支出	府支出金	起債	受益者負担	その他	一般財源
2016(H28)年度	3,187	0	0	0	0	0	3,187
2017(H29)年度	2,785	0	0	0	0	0	2,785
2018(H30)年度	2,715	0	0	0	0	0	2,715
2019(R1)年度	2,750		475				2,275

整備事業の場合の総事業費	0 千円	(建設経費	0 千円	, 用地費	0 千円)
--------------	------	-------	------	-------	--------